

施設理念『キリストの愛を原点に全人的ケアを目指します』

社会福祉法人 救世軍社会事業団 ブース記念老人保健施設グレイス



グレイス新聞

【2024年度 夏号 (2024/ 7/3)】

5月26日にBCP（事業継続計画）震災発生時実働訓練を実施しました。

当日は東京都で震度6強の直下型地震が発生したことを想定し、セコムのアセスメントサービスの一斉送信を受けて訓練に集合という流れで行いました。

職員42名が訓練に参加し、災害対策本部事務局班の指揮のもと、連絡調整班・看護救護班・介護班・栄養調理班・地域要介護支援班・施設管理物品調達班に分かれて役割の内容を確認しました。

介護班：簡易トイレの作成確認等



施設管理物品調達班：物品管理についての確認等



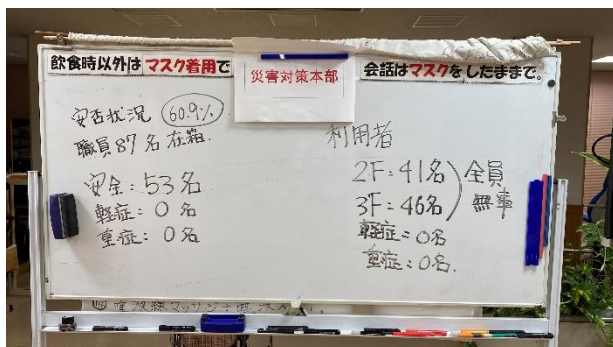
地域要介護支援班：自宅で被災した方の確認



到着しました！



地域要介護支援班に入ってください！



今回は、BCP（事業継続計画）に基づいて訓練を実施しました。準備していたが実際不足しているもの、また運用方法について見直しが必要なもの等、改めて課題が見えてきました。引き続き対策の見直しを行っていきたいと思います。



～あなたの無事を伝えましょう！～

電話を利用して被災地の方の安否情報を確認する「声の伝言板」です。

ご利用方法

171 にダイヤル

音声ガイダンスによるご案内

録音は 1

再生は 2

音声ガイダンスによるご案内

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。携帯電話等の電話番号でも登録可能です。

市外局番

市内局番

お客様番号

0

音声ガイダンスによるご案内

ガイダンスに従い、録音（再生）

地震等の災害が発生した場合、利用されている皆さんの安全確保を最優先で行います。その為、ご家族の皆さんは、上記の NTT 災害用伝言ダイヤルで確認下さい。施設宛に電話をして頂いても出られない場合もあります。施設の状況をメッセージに入れますので、ご確認をお願い致します。

2024 年 救世軍の標語「世代から世代へ」

『人々が、代々に御業をほめたたえ 力強い御業を告げ知らせますように。』

あなたの輝き、栄光と威光 驚くべき御業の数々をわたしは歌います。』

(詩編 145 編4、5 節)



6月16日(日)家族向け事業報告・事業計画を予定しておりましたが、6/7に3階でコロナ陽性者が出まして、2階からも出ましたので、中止させて頂きました。
秋ごろ時機を見て、開催したいと思っております。

2023年度のまとめを書面で報告させて頂きます。(事業報告概要)

運営面

- ・コロナウィルス感染症については9月に2階ご利用者17名(内1名入院)、職員5名陽性。10月に3階でご利用者16名(内入院1名)、職員5名陽性。また2月に3階でご利用者1名陽性。いずれも感染経路が不明で感染拡大のスピードが速く感染力の強さが拍車をかけた状況。ほぼ軽症ではあったが、クラスターの度、終息するまでの時間が長くなってきました。
- ・2月に2階フロアで感染性胃腸炎のクラスターが発生。ご利用者17名(うち2名入院)、職員3名が感染したが、感染症発生の手順に沿ってBCPを発動。クラスターは発生してしまったが、最短の10日間で終息することができた事は、日頃から感染症対応に対する職員の意識が高いからと言えます。
- ・5年に1度の第三者評価を受審しました。1月に杉並区の運営指導が入り、運営、処遇面を確認して頂きました。

設備面

- ・2023年度の大規模修繕として、屋上防水工事を行いました。2020年に実施した大規模修繕のその後として、何か所か壁紙の剥がれ等があり、補修を繰り返しましたが完成に至っていません。
- ・開設28年で不具合箇所があり、その都度、専門家に相談しながら実施しました。

人事面

- ・人員不足が解消できず、欠員で有給消化ができない状況が続いている。欠員補充の緊急的対応として介護職員のワークシェアリング(カITEK)を導入。導入約1ヵ月半で27名の登録があり。複数回登録をしてくださるリピーターも確保できるようになってきており現場の負担軽減となりました。
- ・DM-Studyの視聴については、必須項目は約8割の職員が自主的に受講する事ができました。
- ・介護現場改革促進事業「業務改善プロジェクト」へ参加し、業務のムリ・ムダ・ムラを見直し、新教育プログラムの作成を実施しました。



デイケアのリハビリテーション「理学療法」

グレイスデイケアの理学療法士によるリハビリ

理学療法では主に寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行など基本動作のリハビリを行います。当施設では利用者様の身体機能に合わせて運動や温め等を行うことにより運動機能の維持・向上を図り、ご自宅で転倒することなく安全に生活できるようにサポートしています。又、新規の利用者様に対してはご自宅を訪問し、生活環境を確認することにより、その方が在宅で安全な生活を送れるようにリハビリのプランを作成しています。

<グレイスでのリハビリ例>

階段昇降練習

転倒に細心の注意を払い、手すりや椅子の位置に注意しながら練習を行っています。



バランスボールを使った運動

お尻上げ実践中
インナーマッスルに効きます！



腰痛のある方でも
できるようお手伝いします。



<お家でできるリハビリ>

安全で正しい方法を習得すれば、多くのプログラムをご自宅で行うことが可能です。座ったままできる運動は転倒のリスクが低く、セルフトレーニングとしてお勧めです。



つま先あげ



かかとあげ



ひざ伸ばし

発行者：社会福祉法人 救世軍社会事業団 ブース記念老人保健施設グレイス

発行人：高木 道人

編集責任：黒木 成人

電話：03-3380-1248 HP アドレス：<https://grace@salvationarmy.or.jp/>